

(2) 定款第4条第1項第2号の事業（文化芸術活動に係る人材の育成及び体験機会の提供）

文化芸術ボランティア育成事業や歌舞伎鑑賞入門講座、アウトリーチ担い手育成事業などを継続して実施することにより、文化芸術に関わる人材の育成と啓発の促進を図った。基本方針に基づく事業としては、沿岸部の被災地市民の心のケアを目的とした朗読講座、ゴスペルワークショップ、ジュニアジャズミーティングのほか、管楽器クリニックなどを助成金を活用して実施した。

(単位：円)

事業名	事業概要	実施時期・場所	入場者数	収益	費用
文化芸術ボランティア育成事業	内容：鑑賞事業におけるボランティア業務ほか	通年 東京エレクトロンホール宮城	のべ 87	-	147,007
みやぎ心の復興「ゴスペルワークショップ」	分野：ゴスペル 内容：沿岸部の被災地住民の心のケアを目的としたゴスペルワークショップ 講師：ジョン・ルーカス	平成28年 8月7日(日)～ 10月23日(日) (講座2地域5回 +発表会)計11回 女川町まちなか 交流館・山元町 中央公民館	のべ 161 (発表会観客 760)	854,000 (県助 854,000)	726,702 (人件費等を 除く) 収支差額 127,298
みやぎ心の復興 ジュニアジャズ ミーティングinみやぎ	分野：ジャズ 内容：沿岸部の被災地の児童の心のケアを目的としたジャズ発表会 出演：気仙沼ジュニアジャズオーケストラ ほか6団体	平成28年 9月11日(日) 東京エレクトロン ホール宮城	のべ (出演者・観客) 3,000	2,000,000 (県助 2,000,000)	1,922,583 (人件費等を 除く) 収支差額 77,417
みやぎ心の復興 「朗読講座」	分野：朗読 内容：沿岸部の被災地市民の心のケアを目的に実施。 主に東北にゆかりのある作家の小説(昔話)をテキストに朗読講座を展開 講師：渡辺祥子	平成28年 10月25日(火)～ 平成29年 1月28日(土) (講座6回 +発表会)計7回 東松島市コミュニ ティセンター	のべ (全7回参加者 及び観客) 240	514,000 (県助 514,000)	331,164 (人件費等を 除く) 収支差額 182,836
鑑賞入門講座	講師：葛西聖司(元NHKアナウンサー) 佐藤淳一(尚綱学院大学教授) 石田幸雄 内容：オペラ、歌舞伎、狂言 鑑賞事業のみどころ解説など	平成28年 7月6日(水) 10月6日(木) 11月28日(月)	歌舞伎 108 オペラ 89 狂言 76 計 273	101,233 (入 100,905) (他 328)	472,093 収支差額 △ 370,860
芸術銀河アウトリーチ コンサート	出演：杜ノ響金管五重奏団、柴田姉妹等 宮城県出身者、在住の若手芸術家 内容：生の芸術に触れる機会が少ない 児童・生徒に、鑑賞機会を提供する 「アウトリーチ活動」として実施	平成28年 8月22日(月) ～12月19日(月) 宮城県内学校 15カ所 15公演	のべ 712	-	1,720,274 収支差額 △ 1,720,274
アウトリーチ担い手 育成研修 ～仲道郁代と創る未来の ハーモニー～	内容：県内等の若手アーティストに対 してアウトリーチ技法に関する 研修を行い、質の向上 と人材の育成を図った。 講師：仲道郁代(ピアニスト)、 内藤裕敬(南河内万歳一座座長) 上田市交流文化芸術センター 職員	平成29年 2月20日(月) ～22日(水) 実演研修 3月8日(水) 宮城教育大学 宮城教育大学付属 小学校	2月20日 32 21日 32 22日 23 3月8日 14 計 101	1,300,000 (助 1,300,000)	2,334,697 収支差額 △ 1,034,697

事業名	事業概要	実施時期・場所	入場者数	収益	費用
被災地管楽器クリニック	内容 被災地の小中学生を対象とし管楽器クリニック及び発表会 講師：アウトリーチ実演者によるホルン、オーボエ、クラリネット、トランペット、ユーフォニアムテューバ、トロンボーン、サクスのクリニック	平成28年 10月16日(日)～平成29年 ～3月19日(日) 東松島市立矢本第一中学校、東松島市コミュニティセンター 全5回;成果発表1回 計6回	のべ 108 コンサート 400	1,206,900 (助 1,206,900)	992,460 (人件費等を除く) 収支差額 214,440
心の復興支援事業 (県受託事業)	内容：宮城県文化芸術による心の復興フォーラムの開催及び地域芸能活動状況等の調査 パネラー：小岩秀太郎、吉川由美 他	平成29年 2月1日(水) 遊楽館	44	2,295,074 (県委 2,295,074)	329,629 収支差額 1,965,445
文化庁受託事業 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」	震災により甚大な被害を受けた地域の子どもたちが文化芸術活動にふれて心を潤す事業において、実行委員や芸術家との連絡調整や経理業務を行った(実行委員会業務の一部)。	平成28年5月～ 平成29年3月 97件(他中止1)	12,935	384,983 (雑 384,983)	- 収支差額 384,983
合計	計画7事業(16公演, 40講座) 10事業(16公演, 32講座, その他2)		18,821	8,656,190 (入 100,905) (県助 3,368,000) (県受 2,295,074) (助 2,506,900) (他 328) (雑 384,983)	8,976,609 収支差額 △ 320,419

(注) 県助:受取県助成金, 県受:県文化事業受託収益, 助:一般財団法人地域創造及び独立行政法人日本芸術文化振興会 民間助成金  
他:入場券送付料収益, 雑:雑収益

(注) 上記のほか自主鑑賞事業の調査・企画に関する経費75,471円